



肝ぞう通信

2025年度 第6号 《ポリファーマシーについて》

お知らせ

肝疾患医療センターは、
肝疾患に関する心配事や悩み
事のご相談にお応えしてい
ます。
当院では、総合相談室が窓口
になっております。

場所：病院1階
総合相談室

受付時間：(休診日は除く)
月～金：9:00～15:00
土(第1・3・5)：9:00～12:00

豆知識

しゃっくりには『柿のへた』
が効果的であることが知られ
ています。

柿のへたを含む漢方薬『柿蒂
湯』も市販されており、しゃ
っくりの改善に使われてい
ます。



次回号

テーマ：PCBについて（予
定）

発行責任者

東海大学医学部付属病院
肝疾患医療センター長
加川 建弘

ポリファーマシーとは？

多くの薬を服用し、薬の副作用を起こしたり、きちんと薬を飲めなくなったりしている状態のことを意味し
ています。

ポリファーマシーの問題点①

薬の排泄の変化

多くの薬は、肝臓の酵素の働きにより分解されます。
その後、多くは腎臓に送られ尿と一緒に体外へ排泄さ
れます。

多くの薬を服用していることで、副作用で、肝臓の機
能が低下することがあり、薬が効きすぎてしまっ
たり、逆に効果が弱くなることがあります。



ポリファーマシーの問題点②

薬の飲み合わせ

一つずつでは問題ない薬でも、薬と薬（市販薬も含
む）、薬と食品（飲み物、健康食品、嗜好品含む）の
組み合わせによって、薬の効き目が強くなってしま
う、逆に弱まってしまうといったよくない影響が出る
場合があります。

市販薬やサプリメント、健康食品を飲んでいる時も必
ず医師や薬剤師に伝えてください。